

夢湧き夢に夢中

第12号

令和7年10月31日 文責：大谷

地域とともに夢を育む学校であるために①

去る10月25日、「みなみあそ元気フェスタ」あつまりん祭^{あつまりん祭}が、本校第一体育館を主会場に開催されました。昨年までは生徒作品の展示や吹奏楽部による出演のみでしたが、今年には本校での開催であるとともに、従前から一年生が取り組んでいる起業体験学習の一環として実演販売活動を計画していたこともあり、全校生徒参加型の学習発表と位置づけ、当日まで準備してきました。さて、ご来場いただいた皆さま、いかがだったでしょうか。

本番当日の二日前、本校では校内合唱コンクールを実施しました。ここには、それぞれのクラスで様々なドラマを繰り広げながら歌をひとつにしていくストーリー^{ストーリー}が歌の裏側にあります。だから、この日の合唱も例年になく格別でした。しかし、あつまりん祭当日は、学級単位ではなく学年全員による合唱。「クラスではうまく歌えても、学年で歌うとなるとどうか」「一抹の不安が、心の奥底にじわりと滲みます。しかし、二年生による全員合唱「HEIWAの鐘」は、いつ最上級生として任せてもいいと思えるくらい頼もしい歌声でした。特に二年生は男子が女子よりも多いため、男声パートと女性パートの声量の調整が難しいのですが、実に美しいハーモニー^{ハーモニー}を奏でてくれ、会場を盛り上げてくれました。さらに、次に続いた三年生は「群青」

という歌を通じて、三年生たる思いの丈を存分に聴衆に届けました。限られた時間の中で十分な練習ができない中、しかも保護者だけではなく地域の方々も多くいらつしやる雰囲気の中で、あれだけ堂々と歌える三年生の心意気に大いに感動させられました。「中学生の合唱が聴けてよかった。感動しました」や「このあと歌桜会^{歌桜会}で歌うけど、中学生に負けそう」と、来場されていた地域の皆さんも口々に仰ってくれました。貴重な機会をいただいたことに、改めて感謝します。

地域の行事に、地域の一人としてどう貢献していくか。三年生が総合的な学習の時間を利用して様々な分野に分かれて探究的な学習を行い、その成果を発表(掲示)しました。その中で福祉をテーマにした千里こども食堂さんとのコラボイベント「こども食堂」では、無償提供いただいた食材を利用してカレーライスやクリームシチューに大学芋も準備されましたが、衛生管理上どうしても主会場から離れた家庭科室での提供だったため、集客を心配していました。しかし、そんな心配は無用。生徒らの積極的な会場への案内もあり、家庭科室は大盛況。調理の協力をいただいた千里こども食堂の皆さんも、大変喜ばれていました。特においしそうにカレーやシチューを頬張る子供たちに、中学生たちが優しい笑顔で接する姿が実に愛おしくて、何とも言えない幸福感に満たされました。「食が人を笑顔にし、地域をつなぐ」のだと、生徒らを通じて改めて学ばせていただきました。ご協力いただいた千里こども食堂の皆さま、早朝からありがとうございました。また募金や食材をお寄せいただいた皆さま、ありがとうございました。次回はパン販売と演劇編をご紹介します。お楽しみに。

▼学校ホームページに当日の様子を随時公開中。ぜひご覧ください。



■10月は学校だよりが発行できず大変申し訳ありませんでした。多くの皆さまから激励のお言葉をいただき有難く思っております。定期的に発行するとお約束できない自分が不甲斐ない限りですが、今後とも努力して参りますので、どうか温かく見守っていただけますと幸いです。引き続き、よろしくお願い申し上げます。